

としょかんゆうびん

令和4年春 高学年向け

相生市立図書館 0791-23-5151

4・5・6月の行事とカレンダー



おやすみ



開館時間…午前9時～午後7時

※5/16(月)～31(火)は特別整理期間のため休館します

4月

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	*	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

4/10 (日) 11:00～11:30

パネルシアター「春・春・春!ぽかぽかパネル」

4/24 (日) 11:00～11:30

おはなし会 絵本『わたしのワンピース』

おはなし「とりつこうかひっつこうか」ほか

5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	*	*	*	*

5/15 (日) 10:30～12:00

みんなあつまれ 春のおはなしいっぱい!

おはなし会

絵本『かばくん』、おはなし「文福茶釜」ほか

しおりづくり

じぶんだけのオリジナルしおりをつくろう!

6月

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	*	*

6/19 (日) 11:00～11:30

パネルシアター「犬のおまわりさん」ほか

6/26 (日) 11:00～11:30

おはなし会 絵本『どろんこハリー』

おはなし「おおかみと七ひきのこやぎ」ほか



子ども劇場の

スタンプカードができました

- ① 図書館で配っているカードをもらう
- ② 行事に参加してスタンプを集める



☆ スタンプを5つ集めるごとに、お楽しみがあるよ!

☆ カードをなくしてしまっても、もういちどもらえます。

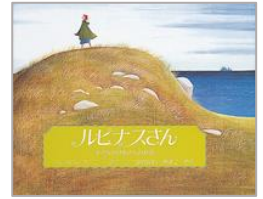
ただし、スタンプは最初から集めてね。

- ・ 体調の悪い人は、行事に参加できません。
- ・ 図書館に来るときは、検温・手指の消毒・マスクの着用をお願いします。

おすすめの本

『ルピナスさん』 バーバラ・クーニー・作 かけがわやすこ・訳//ほるぷ出版//P-ク (絵本)

あるところに、ルピナスさんとよばれる一人のおばあさんがいました。ルピナスさんの本当の名前はアリスといいます。アリスは小さいころ、おじいさんから遠い国々の話をよくきかせてもらっていました。そしておじいさんと3つの約束をします。それは、大きくなったら遠くの国へ行くこと、おばあさんになったら海のそばでくらすこと、そして世の中を美しくするために何かをすることでした。



『ディック・ウィットントンとねこ イギリスの昔話』

マーシャ・ブラウン・再話 絵 まつおかきょうこ・訳//アリス館//P-ブ (絵本)

イギリスの小さな村に、ディック・ウィットントンという男の子がいました。両親が早くに死んでしまい、ディックはひとりでまじしいくらしをしていました。親切な人に仕事をしょうかいしてもらえらることもありましたが、それも長くは続きません。そしてとうとう、ディックはおなかをすかせて道にたおれてしまいます。

『ラビントットと空の魚 第1話 鯉のたんぽぽ釣り』

越智典子・作 にしざかひろみ・画//福音館書店//91-オ

舞台は、魚が空を飛び、鳥が地中を泳ぐ不思議な世界。主人公の少年ラビントットは、鯉の一本釣りをする父親のすがたにあこがれて漁師を目指しました。ところがラビントットは高いところが最大の苦手。克服しようと早くから修行をはじめますが、結局逃げ出してしまい、今は低空飛行の鰯をねらった魚をして生活しています。ある日、ラビントットのもとにお得意さまであるタバスコ村から、魚の注文の便りがとどきます。シリーズが全部で5さつあります。



『ギュレギュレ!』 斉藤洋・作 樋口たつの・画//偕成社//91-サ

ある朝、主人公の住むマンションに一人の男がたずねてきます。その男はトルコ帽をかぶり、鼻の下にひげをはやした浅黒い顔をしていました。そしてなめらかな日本語で「じゅうたんを買いませんか」と言いました。主人公はよくある訪問販売かと思い、すぐに断りますが、話を続ける男につられて、いつのまにかじゅうたんを買うことになってしまいます。そのじゅうたんはただのじゅうたんではなくて…。主人公とふしぎなトルコ人商人とのゆかいなやりとりをえがいたお話です。



らくご しょうねん

『落語 少年サダキチ』 田中啓文・作 朝倉世界一・画//福音館書店//91-タ

しょうがくせい きよみただし べんきょう うんどう わら だいす
小学生の清海忠志は、勉強も運動もパツとしないが、お笑いが大好きで
ギャグや物まねでいつもクラスのみんなを笑わせている。お楽しみ会で親
友と漫才をすることになり、本番2日前も公園でおそくまで練習していた。
その帰り道、忠志は不良グループにからまれていた一人のお年寄りを助け
る。その老人はお礼に落語を聴かせてくれるといい、「平林」という演目
を始める。落語はつまらないと思っていた忠志だったが…。



『明日のランチはきみと』

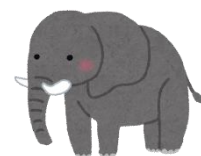
サラ・ウィークス ギター・ヴァラダラージャン・作 久保陽子・訳//フレーベル館//93

しょうがく ねんせい かぞく
小学5年生のラビは、家族とともにインドからアメリカにやってきました。インドではク
ラスで一番の成績だったラビですが、アメリカの学校では、自分の話す英語を聞き取って
もらうことができません。さらに、得意の算数や体育の授業でもみんなを見返すことができ
ず、不満がたまっています。それでも、クラスの人気者であるインド系アメリカ人のディ
ロンが、自分と友だちになりたがっていると考えてがまんしていましたが…。

『ゾウの鼻が長いわけ キプリングのなぜなぜ話』

ラドヤード・キプリング・作 藤松玲子・訳//岩波書店//93-キ

いま
今からはるかむかしのアフリカに、一頭の子どものゾウがいました。
そのゾウはどんなことでも知りたがり、いつも質問ばかりしておとなたちをこまらせていま
した。ある日、ゾウは「ワニは何を食べるのか」という新しい質問を思いつきます。川に
行けばわかると教えてもらったゾウは、さっそくひとりで行って見ます。
ほかに、クジラやラクダ、サイやヒョウなど身近な動物たちのなぜなぜ話が入っています。



『セシルの魔法の友だち』

ポール・ギャリコ・作 太田大八・画 野の水生・訳//福音館書店//93-ギ

セシルはフランスに住む8さいの女の子です。ある日、学校からバス停に向かって歩いて
いたセシルは、とちゅうにあるペットショップで一匹きのてんじくねずみに目をうばわれま
す。そのとき、そのてんじくねずみもまた何かを感じ、セシルのことを見つめていました。
それからというもの、セシルが店の前を通るたびにふたりはおたがいを見つめ合いました。
そして、セシルはそのねずみにジャン＝ピエールという名前をつけ、貯めていたおこづかい
を使って家に連れて帰ります。ふたりはいつも、話をすることができたらどんなに楽しい
だろうと想像していましたが…。

『^{かわ}たのしい川べ』 ケネス・グレーアム・作 石井桃子・訳//岩波書店//93-グ

はる春、モグラはあたたかな陽気にさそわれて地中から顔を出し、川岸までやってきました。生まれてはじめて川を見たモグラは、そこで川岸に住む川ネズミと出会います。ネズミは、ボートに乗ったことがないというモグラを川下りにさそい、ふたりは小遠足を楽しみます。その帰り、モグラは自分もボートをこいでみたいと思いますが…。ほかにカワウソやアナグマなど、川べや近くの森にくらす小さな動物たちが登場します。

『^{うみ べ たから}海辺の宝もの』 ヘレン・ブッシュ・著

佐竹美保・画 鳥見真生・訳//あすなろ書房//93-ブ

メアリーは、イギリス南部の小さな海辺の町に住んでいました。父親は大工をしながら、海辺で「変わり石」を拾い集め、それを売って家計を助けていました。メアリーは、父親がもち帰ってくるこの不思議な石が大好きでした。とうとう念願がかない、兄のジョセフとともに、変わり石集めに連れて行ってもらえることになりましたが…。

主人公のメアリー・アニングは
今からおよそ200年前のイギリスに
実在した人物です



『^{おう じ}りこうすぎた王子』 アンドリュー・ラング・作 福本友美子・訳//岩波書店//93-ラ

ある国に、王さまとたいそうりこうなお妃さまがいました。ふたりには長い間子どもができませんでしたが、やがて一人の男の子が生まれます。王子の誕生を祝い、みなさまがまなおくりものをするなか、一人の妖精が王子にあるおくりものを作ります。それは「りこうすぎる王子になる」というもの。王子はその言葉のとおり成長し、それによって国中のひとびと、そして親である王さまからも嫌われてしまいます。

『^{ことり}みどりの小鳥』 イタロ・カルヴィーノ・作 河島英昭・訳//岩波書店//97

あるとき、三人姉妹のいちばん下の妹が王さまと結婚することになりました。そして王さまと約束したとおりに二人の男の子と一人の女の子を産みますが、妹のことをねたんだ二人の姉によって、それぞれ動物の子とも取りかえられてしまいます。恐ろしい話やおかしな話、りこう者が勝つ話など、さまざまなタイプのイタリア各地の民話が全部で34おさめられています。

『^{ほうげん}方言ずかん』 篠崎晃一・監修 本作り空 Sola・編 山田タクヒロ・絵//ほるぷ出版//81

「方言」と聞いて何か思いうかぶ言葉はありますか。この本には、全国各地で使われている方言がたくさんしょうかいされています。学校の友だちや家族と話をしているときには、それが方言だと気がつかなかった言葉も見つかるかもしれません。ひとりで読むのはもちろん、だれかといっしょに読んでも楽しいずかんです。

